

ゆうゆう通信

令和4年12月10日発行 第44号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設

ゆうゆう 広報委員会

〒395-8503 飯田市上郷黒田 341

電話 53-6048 FAX 53-6047



2B 敬老会

去る9月15日に2階入所者様を対象に敬老会を行いました。お昼のメニューは敬老会に合わせて特別献立を提供しました。いつもとは違う特別な気分を味わっていただけたかと思えます。飲み物はノンアルコールやジュースなどを取り揃え、好きなものを選んで頂きました。午後は14時30分より事務長による挨拶に今の情勢などをわかりやすく利用者さんにお伝えすることができたと思えます。米寿・白寿を今年中に迎えられる方々をご紹介させていただきます。ささやかなメッセージカードをお渡しさせていただきました。職員から、50年前の山本リンダさんの曲を面白変装で踊らせていただきました。笑顔でアンコールをするくらい盛り上がりつつあり、喜んで頂けたのではないかなと思っております。またささやかではありますが施設より景品を贈らせていただきました。また来年も皆さんが楽しくなるような企画ができればと思えます。



3A 敬老会

9月15日に敬老会を行いました。この日は出し物を計画するというより、日頃できないケアをしたいと考えました。コロナ禍で面会も外出もできない状態が続き、限られた空間で過ごすためか、「外に出られない」「家族に会えない」という不安や不満を抱える利用者様が多くおられます。家族に会うことはまだできないけれど、少しでも気分転換になり、個別にゆっくりお話を聞く機会をつくることができ、と考え、外の公園に散歩に行く計画をしました。

この日は天気も良く、日向にいと暑く感じられました。久しぶりに外に出る利用者様からは「暑いな」「ここはどこ？上郷か」「風越山が見える」などの言葉が聞かれました。周りを見渡したり、歌を唄ったり、道を歩く小学生に手を振ったりする姿も見られました。短い時間ではありましたが、利用者様と職員1対1で話をしながら、それぞれ思い思いの時間を過ごすことができました。その後施設に戻り、みんなで歌を唄いお茶をいただきました。利用者様は明るく穏やかな表情をされており、唄う声もいつもより大きく感じられました。利用者様の良い表情を見ることができ私たち職員もとても嬉しく思いました。これからもこのような機会を増やしていきたいと思えます。



敬老の日

2A 敬老会



2Aの敬老会は昼食の敬老会献立にノンアルコールビール・ジュース・お茶を各自で好きなものを選んでもらいました。特にお赤飯は普段のメニューにはなかなか出てこないもので、とても喜んでいただきました。

昼食後の休憩を挟み、午後に敬老会の式典を執り行いました。事務長のあいさつの後、満年齢の長寿祝いの方々を表彰させていただきました。賞状をお渡ししました。また、ご家族からのメッセージを事前にお願ひし、その場で披露させていただきました。

最後に職員が「水戸黄門」の寸劇を披露しました。町娘（男性）の迫真の演技に皆大盛り上がり！殺陣では利用者様の周りで追いかけてこが始まったり、格さんが印籠というものを間違えて出してしまったりと、職員のオリジナリティーが溢れていました。職員の演技を見て笑顔になってくれた利用者様も多く、職員共々楽しい時間を過ごすことができました。



黄門様ご一行 悪代官を成敗



左から悪代官、手下、町娘



3B 敬老会

3Bの敬老会は、普段会えない家族と利用者の心が少しでも近づけたらいいなと思ひ、内容を検討しました。

ご家族に協力してもらいメッセージと利用者の好きなお菓子を考えてもらい準備してもらおうにしました。まんじゅう、カステラ、鯉の甘露煮、ショートケーキ等、色々な食べ物が集まりました。午前中は、職員によるハンドマッサージを行い、普段できない会話を楽しみました。

午後から、敬老会で、一緒に歌を歌い、サプライズで手紙を渡し、お菓子を食べました。コロナ禍でなかなか会う事もできない為、メッセージやお菓子を見ると泣いて喜ぶ利用者もいました。笑顔がたくさん見られ、職員も嬉しく思いました。

これからも、利用者が喜びを持ち生活ができるように、企画を考えていきたいと思ひます。





デイ 敬老会

9月12～14日にかけて、デイケア敬老会を行いました。

デイケアでは、九〇歳以上の方が四十二名、そのうち九十五歳以上の方が十二名、百歳の方が一名いらしゃいます。みなさんとてもお元気で、デイケアに通ってきてくださっています。

式典では事務長から日頃の感謝とお祝いのあいさつがありました。記念品としてミニ孫の手をお渡ししました。これで痒い所に手が届きますね(？)。日頃の生活の中で「活用いただきたいと思います。

アトラクションでは、職員がそれぞれの衣装をまとうて、「マツケンサンバ」を踊りました。練習の成果もあり、皆さん手拍子をしてくださりとても盛り上がりました。中には一緒に踊り出す利用者様もおられ、さらに会場を盛り上げてくださいました。いつまでもお元気で過ごしてください。



紅葉狩りに行ってきました

デイケアでは、毎年恒例となっております、紅葉見学に11月5～9日に野底森林公園へ行ってきました。

もみじ橋から山田体育館へ向かう道路沿いにはたくさんのもみじが植わっており、グリーンからオレンジ、赤色、深い赤色のグラデーションの美しさに目を奪われました。

野底山森林公園に向かうもみじ橋周辺には、下に真っ赤なドウダンツツジが、上には深い赤色に色づいたもみじが、2段になって人の目を楽しませてくれます。

利用者の皆さんは車窓からの見学でしたが、「わー、きれい」と、とても喜んでいただけました。



特殊浴槽を更新しました

ゆうゆうの設立以来使用してきた現在の特殊浴槽の老朽化に伴い、特殊浴槽を更新しました。特殊浴槽はアマノ社製のマリンコートレモというタイプになります。以前使用していたものもアマノ社製でしたが、浴槽に入るためのストレッチャーが以前より低くなるため、車椅子やベッドからの移乗がより楽で安全にできるようになりました。また、ダブルアクション機構（浴槽が上昇すると同時に担架が下降）のため、台に乗っていると利用者様が不安なく入浴することができ、常時ろ過フィルターで浴槽のお湯をきれいにしています。

利用者の皆様に、これからも安心して気持ち良く入浴いただけるようにしていきたいと思っています。



(写真 AMANO ホームページより引用)

栄養士の豆知識



毎年、恒例となっております「おはぎ」についてお話しをしたいと思います。

春は「ぼた餅」秋は「おはぎ」と呼ばれておりますが基本的には、同じ食べ物とされています。違いは、食べる時期が、春か秋かの違いだそうです。「おはぎ」は萩の花が咲くころのお彼岸で食べます。また「ぼた餅」は牡丹の花が咲くころの春彼岸で食べます。

昔から、「赤」は、魔よけとされて小豆はその代表とされ赤飯などとして祭事に使われれ米は五穀豊穡で米とあずきを合わせて「おはぎ」などを作るそうです。邪気を祓い、先祖の霊を慰める為にささげられてきたんですね。ゆうゆう給食室では、9月21日昼食にデイ利用者様2階3階入所様に「おはぎ」を食べて頂きました。あんこ、きな粉、黒胡麻 三種類を調理全員でおはぎを丸めて頑張りました。「買ってきたいな、おはぎだなあ〜」「とても美味しい」など感想を頂けうれしく思いました。きっと昔を懐かしくおもわれた事でしょうね。

牡丹の花



萩の花



防災訓練を行いました

年1回義務付けられている防災訓練を、9月30日に実施しました。夜間2階食堂から火災が発生したという想定で、消防署への通報や初期消火、職員が利用者となり、避難誘導訓練を実施しました。今年もシナリオは作らず職員一人一人がどのような行動をすればよいか考える防災訓練となりました。日頃からしっかりと訓練を行い、いざという時に落ち着いて行動できるようにしていきたいと思えます。



編集後記

新型コロナウイルスの拡大はまだまだ収まる気配はなく、飯田下伊那管内でも毎日3桁の感染者数が報告されています。ゆうゆうでも複数の感染者がありました。ここで学んだ事を活かして今後の感染予防に努めていきたいと強く思いました。年末になりますように祈っています。(博)